

情報をクリップする



発行所 紙製品新聞社
〒542-0061 大阪市中央区安堂寺町
2-4-14 文健会館3階
TEL06 (6765) 1881 FAX06 (6765) 1880
購読料 1年間11,000円(税込)
振替口座 00990-3-16988番
e-mail: clips@ah.wakwak.com
JCOPY 本紙の無断複写は著作権法上での
例外を除き禁じられています。複写される場合
は、そのつと事前に出版者著作権管理機
構 (tel03-3513-6969, fax03-3513-6979 e-mail:
info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

KOKUYO
Campus
コクヨ株式会社

T S W
TOKYO STATIONERY WEEK
東京文具週間
「文具の魅力
を国内外に発
信する新たな
シジョン」



東京文具週間「文具の魅力
を国内外に発信する新たな
シジョン」を開催した。
山本代表は「文具の魅力
を国内外に発信する新たな
シジョン」を開催した。
山本代表は「文具の魅力
を国内外に発信する新たな
シジョン」を開催した。

TOKYO STATIONERY WEEK
ONERY WEEK実行
委員会(山本泰三代、神
戸市は、1月10日、東京
文具共和会館で、複数の文
具展示会が連携し合い、国
内外の文具バイヤーを東京
に呼び込む約10日間の展示
会ウィーク「TOKYO
STATIONERY WEEK
2024 (東京文
具週間) (略
称TSW) の
記者発表会を
開催した。
山本代表は「文具の魅力
を国内外に発信する新たな
シジョン」を開催した。
山本代表は「文具の魅力
を国内外に発信する新たな
シジョン」を開催した。

6社2団体が参加
内外のバイヤーを集める

7月に東京で文具週間

様々な仕掛けが可能になる。小売店をはじめ国内外の文具ユーザー、インフルエンサーを巻き込んでムーブメントを起こし、文具カルチャーを盛り上げていきたい」と開催趣旨を説明。情報発信については公式サイト (<https://tokyostationeryweek.com/>) にイベント情報を掲載することで展示会への誘導を促す。配布用のリーフレットも制作予定。次年度には共通入場パスの発行、シャトルバスによる相互の送迎、政府経産省への働きかけなどを計画している。

海外バイヤーへの情報発信については各社のルートを活用しながらプロモーションを実施する。1月10日現在でTSWへ

の参加を表明しているのはキングジム、サクラクレパス、デビカ、べんてる、レイメイ藤井、文紙フェア、エムディーエス、FRAT (文具と雑貨の合同展示会)、SOCALLO (インテリアと雑貨の合同展示会)、スーパードリバーリー (事業者専用の卸・仕入れサイト)。各社のスケジューリングは次の通り。

サクラクレパスは7月9、10日に東京支社の展示会場で、事前予約制で開催。デビカは文紙フェアへの参加に加えて、新製品展示会を7月3〜5日に東京シヨールームで開催。べんてるは7月4、5日に東京・港区のニューピアホールで開催。レイメイ藤井は自社の展示会と、TSWに参加する展示会の2つに分けて開催。日程は未定。

2024年夏の文紙フェアを7月9、10日に共和フォーラムで開催。エムディーエスは、法人向けの展示会「文具チャンネルマーケット」を7月4日に東京都立産業貿易センター浜松町館で開催。FRATは7月3、4日に東京ポートシティ竹芝に会場を移して開催。スーパードリバーリーは海外客へのPR及び海外向けの決済、配送をサポートする。

大幅増の549人が来場

20周年迎えた新春文紙フェア

41社が多彩な新製品発表

4年振りに対面形式の開会式を行い、口分田代表幹事は「文紙フェアは2004年1月に共和フォーラムで第1回を開催以来、今年は20周年のメモリアルイヤーとなる。今日まで継続開催すること



開場と同時に多くの来場者で賑わう会場



開会式で挨拶する口分田代表幹事は「文紙フェアは2004年1月に共和フォーラムで第1回を開催以来、今年は20周年のメモリアルイヤーとなる。今日まで継続開催すること

スーションナリー情報委員会(口分田尚志代表幹事「コレクト」は、1月10、11日、東京・浅草橋の共和フォーラムで、文具メーカー合同見本市「第37回2024年新春文紙フェア」を開催、前年対比113%増の549人が来場、20周年メモリアルイヤーを盛り上げた。

の創造。見つけよう! 自分だけの推し文具! ありがとう20周年」をテーマに、2〜3階に41社(新規1社)が出展、両日も開場と同時に多くの来場者が入場し、新年度の商戦に向けて活発な商談を行った。好評のスタンラリーも継続実施し、来場者の回遊性を

人から人へ心を伝える
ハイト株式会社
ハイト紙製品

折れない・割れない・サビない
匠の技
チタン製 ツーウェイ
耳かきブラック
極薄極細仕上げ
日本
仕上げ
取れた
耳垢がよく
見える
滑らず
ゴツリ
取れる
便利な
ケース
付き
美しい暮らしを創る装飾利器習物
グリーンベル
<https://www.greenbell.ne.jp/>

社協力を願う」と挨拶。新規出展の文運堂・谷口晴久社長の紹介を行った後、一本締めで開場した。今回は20周年を迎えて新たに設定した「Something New 新しさ」をテーマに、500人を突破した。内訳は初日290人、2日目259人。来場者別の前年対比は卸店24%増、小売店10%増、他31%増とそれぞれ増加した。「文紙フェア大賞」(3面に掲載)は新製品部門の金

自由、いつかは アルバム整理
12月5日は「アルバムの日」
デジタルカメラやスマホで撮りためた思い出の写真をアルバムにしましよう!!
ALBUM'S DAY

高めた。新春文紙フェアは2021年はコロナ禍で開催を中止、2022年から再開しているが、来場者数がコロナ前に戻らない厳しい環境の中、今回もつと来場者

賞に日本理化学工業「kittas by ARTIST」、銀賞にセメダインの「すきまキレイ」、銅賞にデビカの「紙のクリップ」。イチ押し商品部門の金賞に日本理化学工業の「なつかしの黒板ふき布リキ缶」、銀賞にクルーズの「マイクローファイバークロス308」、銅賞に寺西化学工業の「かんたん家具補色マーカー・家具キスカクス」がそれぞれ受賞。年間テーマ賞は57件の応募があり寺西化学工業の寛伸哉氏とマグエックスの渡辺誠氏の提案が選ばれた。なお、第38回2024年夏の文紙フェアは7月9、10日、第39回2025年新春文紙フェアは1月8、9日に共和フォーラムで開催予定。

SAKURA COLORING THE FUTURE
PIGMA HOLDER
ピグマホルダー
線を選び、輝きを纏う
PIGMA-進化するDNA

① 好みの軸色の **PIGMA HOLDER** を選ぶ
② 好みのペン先の **PIGMA** を選ぶ

Point. / 低重心で疲れにくく、安定した操作性を実現

Point. / アルミニウム×真鍮の本体軸、まわして装着

ピグマを入れても握りやすい細軸設計

キャップの天面には模様の刻印入り

世界初! 水性顔料サインペン **PIGMA** ピグマ

用途に合わせて選べるペン先

ピグマ各種 小売価格 ¥220 (本体価格 ¥200)

ピグマ03 細かいところに手帳・ノートに書く

ピグマ1 はっきり見やすくメモに書く

ピグマFINE とめ・はねはらいて英文字にハガキに書く

株式会社サクラクレパス <https://www.craypas.co.jp>